

情報公開原稿

急性期病院における転倒転落アセスメントスケールの開発について

Ver.3 (2020 年 3 月 2 日改訂)

1) 対象者の受療施設名

京都大学医学部附属病院

2) 対象となる患者さん

2013 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に入院された 15 歳以上の患者さん

3) 研究期間

2016 年 9 月 27 日から 2022 年 3 月 31 日まで

4) 研究目的の概要

転倒・転落アセスメントスコアは、内在要因（運動要因、感覚要因、高次要因など個人特有のもの）、外部要因（薬物治療や段差、手すり、履物など環境と関係したもの）を考慮して作成されています。京大病院独自で用いられている転倒・転落アセスメントスコアは 17 項目（年齢、運動機能、感覚機能、高次機能、排泄の状態、緊急入院の有無）からなりませんが、転倒・転落に関連があると言われている薬剤の使用の有無に関して触れられていません。また、海外でよく用いられている転倒転落アセスメントスコアは京都大学医学部附属病院独自のものに比べて少ない項目でハイリスク者の特定を行っています。さらに、神経疾患や精神疾患患者は、一般高齢者に比べ、内在要因だけでも複数の転倒要因を持っており、実際、現行のアセスメントスコアでローリスク者と判定された患者に転倒・転落事故が発生していることが多々あります。最後に、アセスメントスコア開発時点から数年が経過しており、院内での対策も進みつつあることから、転倒・転落のリスク構造自体が変化している可能性も考えられます。

以上のことから現行のリスクスコアを再検証し、従来モデルよりも実用的かつ簡便なリスクスコアを開発することを目的としています。

5) 研究方法

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施するものです。

研究対象者の入院時の基本データ（年齢、性別、入院日数と期間、診療科、入院中の投薬歴、入院中の 38℃ を超える発熱の有無）、転倒・転落アセスメントスコア（年齢、運動機能、感覚機能、高次機能、排泄の状態、緊急入院の有無）及び入院した時点から退院までの転倒・転落インシデントの有無、転倒・転落者に関してはその時の状況に関する調査をし

ます。

6) 個人情報保護について

研究実施に係るデータは匿名化を行い、研究を実施します。被験者の秘密保護に十分配慮します。

研究成果は、学会・研究会発表、研究報告、論文にて公表します。発表する内容に個人を特定する情報は一切含みません。研究実施に係るデータを取り扱う際は、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。

データは京都大学医学部附属病院の電子カルテから抽出し、さらにカルテ ID を JIS コード化し、そのコードを無作為に選んだアルファベットで置換することにより匿名化を実施します。この数字とアルファベットの対応表は鍵のかかるロッカーまたはパスワードを設定した電子ファイルで保管いたします。

また、本研究で得られた患者さんのデータは、本研究以外の目的に使用しません。

7) 参加拒否の自由

本研究への参加拒否は自由であり、随時データを使わないように申し出ていただくこと参加の撤回が可能です。それにより不当な医療上の不利益は発生しません。参加拒否をご希望される場合は、下記にご連絡ください。

8) 研究計画書および研究の方法に関する資料を入手閲覧できることについて

研究計画書および研究の方法に関する資料の入手閲覧をご希望される場合は、下記にご連絡ください。ただし、他の研究対象者等の個人情報および知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られます。

9) 研究資金、利益相反に関して

本研究は、運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理しています。

10) 問い合わせ先

研究者窓口：京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 臨床看護学講座

研究責任者：田村恵子、研究担当者：林 幸史

<Tel:075-751-3921 >

病院側窓口：京都大学医学部附属病院 相談支援センター

<Tel:075-751-4748 >

<E-mail: ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp>